

環境調査結果のお知らせ

平成30年5月29日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温20～22℃、塩分32～34、溶存酸素量6～8mg/lでした。
透明度は4～5mで、有毒種のアレキサンドリウム属、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温19.9～22.0℃、塩分32.2～33.9でした。
前回調査時(H30.5.9)と比較して、水温は全層で2.2～2.7℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.2～1.3上昇し、10m層から底層で0.1～0.2低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.2～8.2mg/lでした。
前回調査時(H30.5.9)と比較して、全層で0.5～1.0mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.5～4.5mでした。
検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で14cells/ml、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で8cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

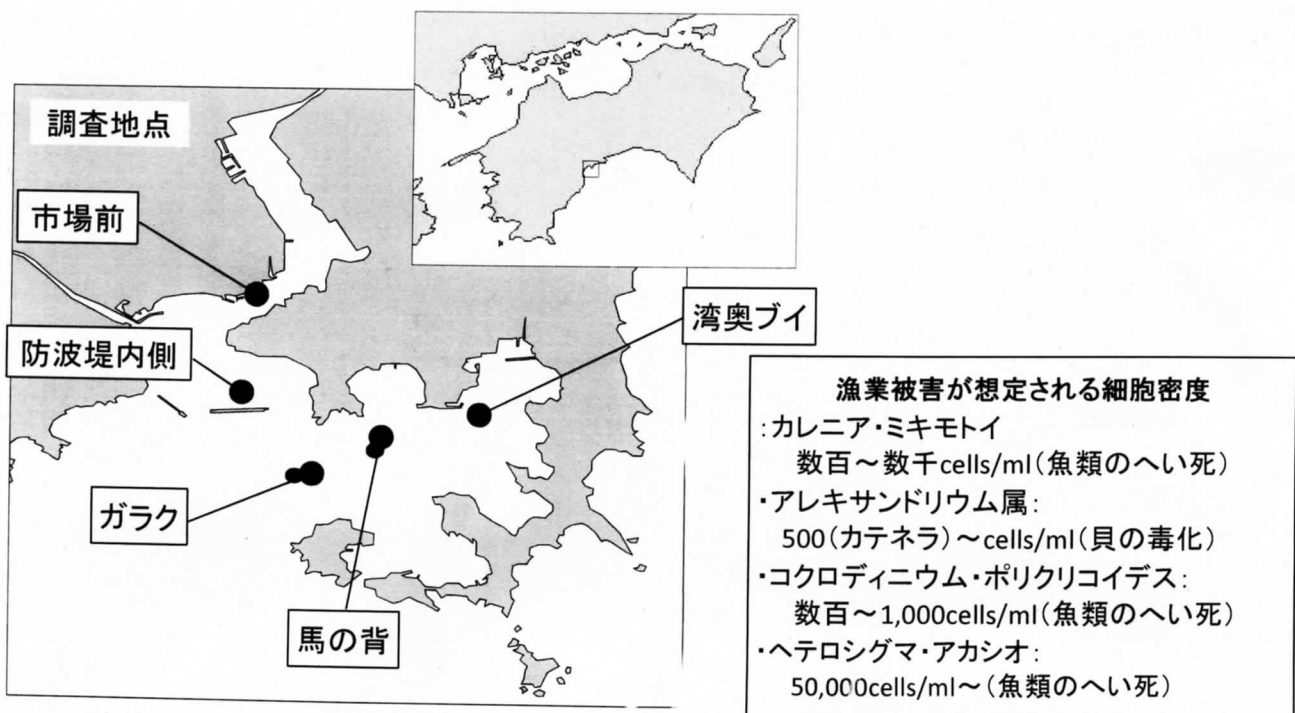


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.9)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.0	21.9	21.8	21.7	21.9	19.7	2.2	21.8
2m	21.8	21.8	21.7	21.8	21.8	19.6	2.2	21.6
5m	21.2	21.4	21.3	21.5	21.3	18.9	2.4	21.3
10m	20.8	21.0	21.1	21.1	21.0	18.3	2.7	21.0
B-1m	20.0	19.9	21.1	20.7	20.3	17.8	2.5	20.8

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.9)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.5	33.5	33.5	32.2	33.5	32.2	1.3	32.3
2m	33.6	33.5	33.5	33.2	33.5	32.9	0.6	32.9
5m	33.7	33.6	33.6	33.5	33.6	33.4	0.2	33.4
10m	33.8	33.7	33.7	33.7	33.7	33.8	▲ 0.1	33.7
B-1m	33.9	33.9	33.7	33.8	33.8	34.0	▲ 0.2	33.8

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.9)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.6	7.5	7.4	8.2	7.5	8.0	▲ 0.5	7.7
2m	7.8	7.0	7.3	8.1	7.3	8.0	▲ 0.7	7.6
5m	7.6	6.7	6.8	7.9	7.0	7.8	▲ 0.8	7.1
10m	6.4	6.9	6.7	7.0	6.7	7.7	▲ 1.0	6.6
B-1m	6.2	6.5	6.6	6.7	6.4	7.4	▲ 1.0	6.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	16.4	23.0	12.9	14.5	13.2
透明度	4.0	4.5	4.0	3.5	2.5
前回(5/9)	3.0	2.5	3.0	2.0	1.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	アレキサンド リウム属	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	2,100
	2m	0	0	0	0	3,200
	5m	0	0	0	0	500
馬の背	0m	0	0	0	0	1,400
	2m	0	0	8	0	900
	5m	0	0	0	0	450
ガラク	0m	0	0	0	0	2,500
	2m	0	0	8	0	1,100
	5m	0	0	0	0	1,100
津波防波堤 内側	0m	0	12	0	0	3,200
	2m	0	4	4	0	1,400
	5m	0	0	0	0	1,500
市場前	0m	0	0	0	0	1,500
	2m	0	14	0	0	1,100
	5m	0	5	0	0	750